

HUMANATURE

KEEP THE PLANET COLD
AND THE PEOPLE ON IT WARM

地球を冷たく、住む人々を暖かく

CANADA GOOSE

本レポートについて

本年次レポートでは、特に明記されていない限り、2023年4月2日に終了した年度（本書では「FY23」と表記）の戦略、実績、地域社会との関係について述べています。

（数か所で、FY23と、2021年3月29日から2022年4月2日までのFY22を比較。）現時点で可能な限り、サステナビリティ会計基準審議会（SASB）に準拠しています。将来の見通しに関する記述の詳細については、32ページをご覧ください。

目次

カナダグースでは、どのような状況にも耐え、細部まで観察し、長期的な視点で、地球を冷たく、住む人々を暖かくするために活動しています。

本レポートは、カナダグースのFY23の取り組みとその実績をまとめたものです。



素材

12



人々と地域社会

26



製造と
オペレーション

16

責任ある事業活動

22



カナダグースでは、日々サステナビリティに力を注いでいます。それを忠実に実行する一環として、すべてのステークホルダーに対して明確かつ透明であることは私たちのコミットメントです。サステナブルインパクト戦略において、特にエネルギーと素材の革新において重要な進展を遂げています。すべてのカーボンフットプリントを削減する計画を遂行し、使用する電力の多くを再生可能エネルギーに切り替えることを加速させてきました。私たちのチームは、推奨繊維および原材料(PFMs)の目標を予定より早く達成する態勢を整えており、2025年末までのブルーサイン®の目標をすでに達成しました。新たに最終製品をより責任ある方法で包装することに重点を置いています。これらの取り組みのすべては、世界中の従業員、サプライヤー、ステークホルダー、そしてお客様の総力の賜物です。

ダニー・リース

DANI REISS

会長兼CEO



私たちは今日の課題に対応するためにサステナビリティの旅を拡大し、進化させています。気候変動を抑え、北極圏の保護を推進し、責任を持って素材を使用する上で、可能な限り私たちが説明責任を果たしながらリーダーシップの役割を担うことが重要です。

私たちの製品はファーフリーです。毛皮製品の製造を終了する一方で、カナダグースの特長である保温性と性能を提供するため、サステナブルな新素材への投資を続けています。リサイクルウールを主とするカインドフリースのような素材は、私たちのテキスタイルニーズにとって将来性のある次のステップです。「リジェネレーション コレクション」は、私たちのサプライチェーンの余剰生地をアップサイクルし、新しい製品へと生まれ変わらせています。

カナダグースの新しいリセールチャネル「カナダグース ジェネレーションズ」は、何世代にもわたって使えるカナダグース製品をより長く循環させることを目的としています。

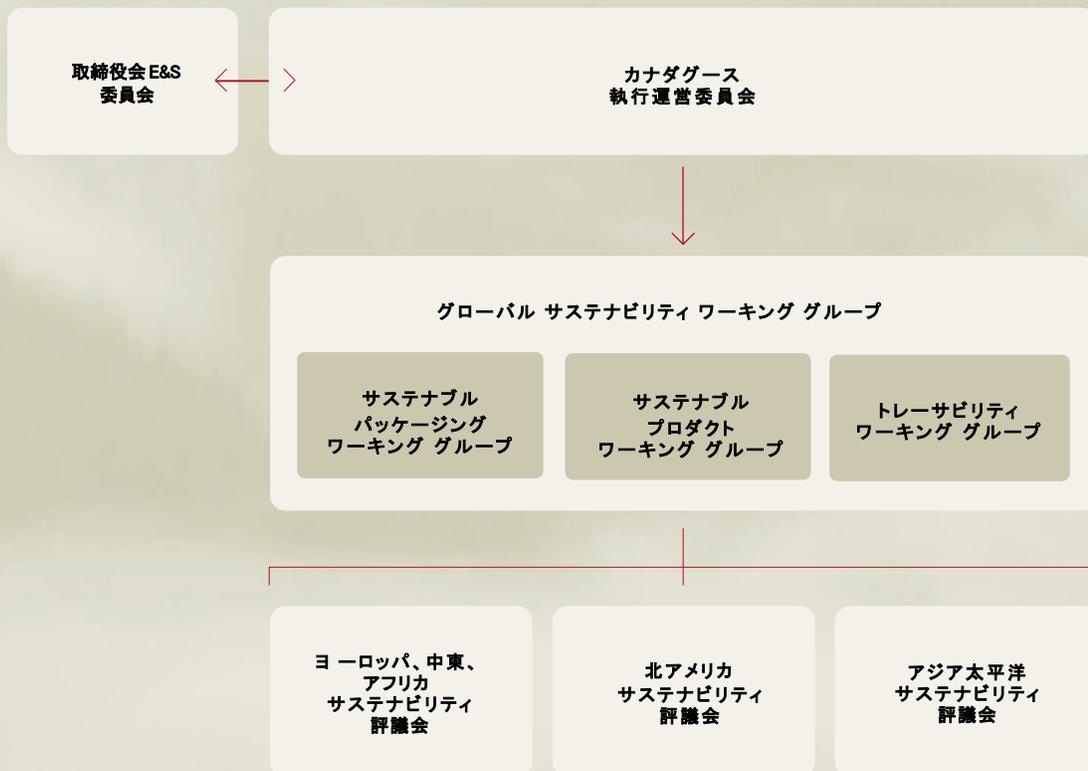
今年度はカナダグースにとって多忙な年でしたが、私たちの旅の先に何が起こるのか楽しみです。私たちは、責任を中心とした明るい未来の創造を目指しています。

カナダグースのブランド力はかつてないほどの強さで、その成功は主に、私たちが展開する事業活動、環境、地域社会にポジティブな影響を与えることに力を注ぎ続けてきたことによるものです。

ダニー・リース
会長兼CEO



コーポレート シチズンシップ ガバナンスの 体制と役割



ガバナンスの体制の詳細については、[2021年度ESGレポートの67ページおよび68ページ](#)をご覧ください。

サステナブル インパクト戦略¹

私たちの戦略は、使用する素材、製造およびオペレーション、人々と地域社会、責任ある事業活動に関連する目標に焦点を当てています。進捗状況報告のすべての項目は現時点のものであり、特に明記されていない限り、2023年4月2日を示します。¹

目標	目標年	進捗状況 ²
素材		
2025年末までにすべてのパッケージをより持続可能なソリューションに移行する ³	2025年末	FY23 89% FY22 86%
持続可能なソリューションを定義し、基準値測定を行い、パッケージの持続可能な素材と再利用率を向上させる計画を確定する	2022年末	FY23: 目標達成 2022年9月時点で、CGは通常の低密度ポリエチレン(LDPE)ポリ袋の購入を止め、100%産業再生材のポリ袋に移行しました。 FY22 進行中
当社が所有または管理するすべての施設において、リサイクルできない使い捨てプラスチックを排除する	2022年末	FY23 進行中 カナダグースのすべての小売店で使い捨てプラスチックの購入を終了しました。 FY22 進行中
カナダグースの国内生産において、テキスタイルエクステンジェが指定する推奨繊維および原材料(PFMs)を満たす素材の割合を90%にする	2025年末	FY23 77%* FY22 51%
カナダグースの国内生産において、ブルーサイン [®] 認証を取得した生地の割合を90%に引き上げる ⁴	2025年末	FY23: 目標達成⁶ FY22 65%
PFAS(有機フッ素化合物)不使用のアーキテックテク素材のみを購入する	2023年末	FY23: 目標達成 FY22 進行中
2021年末までにカナダグース独自のダウン透明性基準(DTS)から世界的な責任あるダウン基準(RDS)に移行する ⁴	2021年末	目標達成
売れ筋上位10商品のカーボンおよびウォーターフットプリントを特定するライフサイクルアセスメントを実施する	2021年末	目標達成

1 サステナブルインパクト戦略では、分かりやすいように、会計年度ではなく暦年を基準として目標を設定しています。進捗状況は、特に記載がない限り、2022年4月3日時点のものです。

2 小数点以下を四捨五入しています。

3 無駄な包装をなくし、ギフトボックスを100%リサイクル素材に変更し、現在の在庫を消費して消化した後、100%リサイクル素材のプラスチックポリ袋に切り替える計画を立てています。

4 今年度、RDS認証ダウンをPFMsの計算に含めています。この基準はテキスタイルエクステンジェによって認められており、今後数年間はこの方法を使用する予定です。

この方法にRDS認証ダウンを含めなければ、FY23にカナダグースが購入した素材の65%が検証されたPFMs素材になります。

5 リサイクルウールは、ブルーサイン[®]の基準に該当しません。

6 今年度、RDS認証ダウンをブルーサイン[®]認証素材の計算に含めており、今後数年間はこの方法を使用する予定です。

この方法にRDS認証ダウンを含めなければ、FY23にカナダグースが購入した素材の85%がブルーサイン[®]認証の素材になります。

目標	目標年	進捗状況 ²
製造とオペレーション		
スコープ1および2の排出量をネットゼロにする	2025年末	FY23  43% FY22に対して43%減少しました。 FY22  21年比で3%増加しました ⁷ 。
各年の温室効果ガス排出量の200%に相当する量を削減、回避、または除去するプロジェクトに投資することで、会社の事業活動 (Scope1および2の排出量) におけるカーボンニュートラルを維持する	2025年までにネットゼロエミッションを達成するまでの年間目標	FY23: 目標達成 FY22: 目標達成
再生可能エネルギーに関する取り組みを導入する	2022年末	FY23: 目標達成 RECs ⁸ を活用し、世界の再生可能エネルギープロジェクトに投資しました。 FY22  進行中
エネルギー効率および再生可能エネルギーの購入または設置に投資する	2023年末	FY23: 目標達成 製造工場で多数のエネルギー改善プロジェクトを開始しました。これらのプロジェクトによる省エネルギーは24年度に実現の見込みで、398トンのCO ₂ eの削減に相当すると予想されます。 FY22  進行中
スコープ3の排出量を測定し、2024年までに目標を設定する	2024年末	FY23  進行中
消費者保証後のグローバル保証廃棄物製品の100%を転換する ⁹	2025年末	FY23: 目標達成 FY22  61% 進行中 寄付やアップサイクルなどの転用により達成しました。
SBTi(科学的根拠に基づく排出量削減目標イニシアチブ)に提出し、承認を得る	2022年末	FY23  SBTiに公的にコミットし、2023年末までに目標を提出し、正式に発表する予定です。 FY22  進行中
人々と地域社会		
ポーラーベア インターナショナル(PBI)の調査・保護活動への支援を通じて、北極圏の保護を推進する	継続中 ¹⁰	FY23: 75万カナダドルをPBIに寄付 FY22: 107万2千カナダドルをPBIに寄付
責任ある事業活動		
Tier2、Tier3の製造業者にCG社会貢献プログラムを導入する	2022年末までに50%達成	FY23: 目標達成 FY22  15%
総合的なスコアカードとモニタリングシステムを含む、協力的な社会的パフォーマンスプログラムを開始する(Tier1)	2021年	目標達成
Tier1のメーカーの評価を完了する	2021年末までに100%達成	目標達成

7 これらの数値は、GHG(温室効果ガス)排出量の計算方法の更新に伴い、元に戻されました。詳細については、このレポートの22ページをご覧ください。

8 再生可能エネルギー証書(RECs)は、同じ送電網における当社の使用量に相当します。

9 私たちの目標は、今後も毎年100%の転換を維持することです。この目標は、1年あたりの消費者保証後のグローバル保証廃棄物の総量に基づくものです。

基準値と比較して、時間の経過とともに累積するものではありません。リサイクル、寄付、再利用など、さまざまな転換方法の試験を実施するため、年間の転換率は毎年変動します。

10 2007年にパートナーシップが始まって以来、合計600万ドル以上をポーラーベア インターナショナル(PBI)に寄付しています。

マテリアリティ(重要課題)評価

FY22に、サステナビリティのベストプラクティスに沿って、ステークホルダーの意見を考慮し、事業活動への影響に関するサステナビリティ・トピックの相対的な重要性を特定、評価する最初の重要性評価を完了しました。

この評価は、私たちがサステナビリティの課題に取り組み、前進を続けていく上で、説明責任の重要な基準を得られます。私たちは引き続き情報開示に努め、その内容を充実させ、お客様、パートナー、従業員、そしてより広範な地域社会に、以下のトピックに関するカナダグースの取り組みをお伝えしていきます。評価は以下のプロセスで行われました。

1. 問題領域の定義

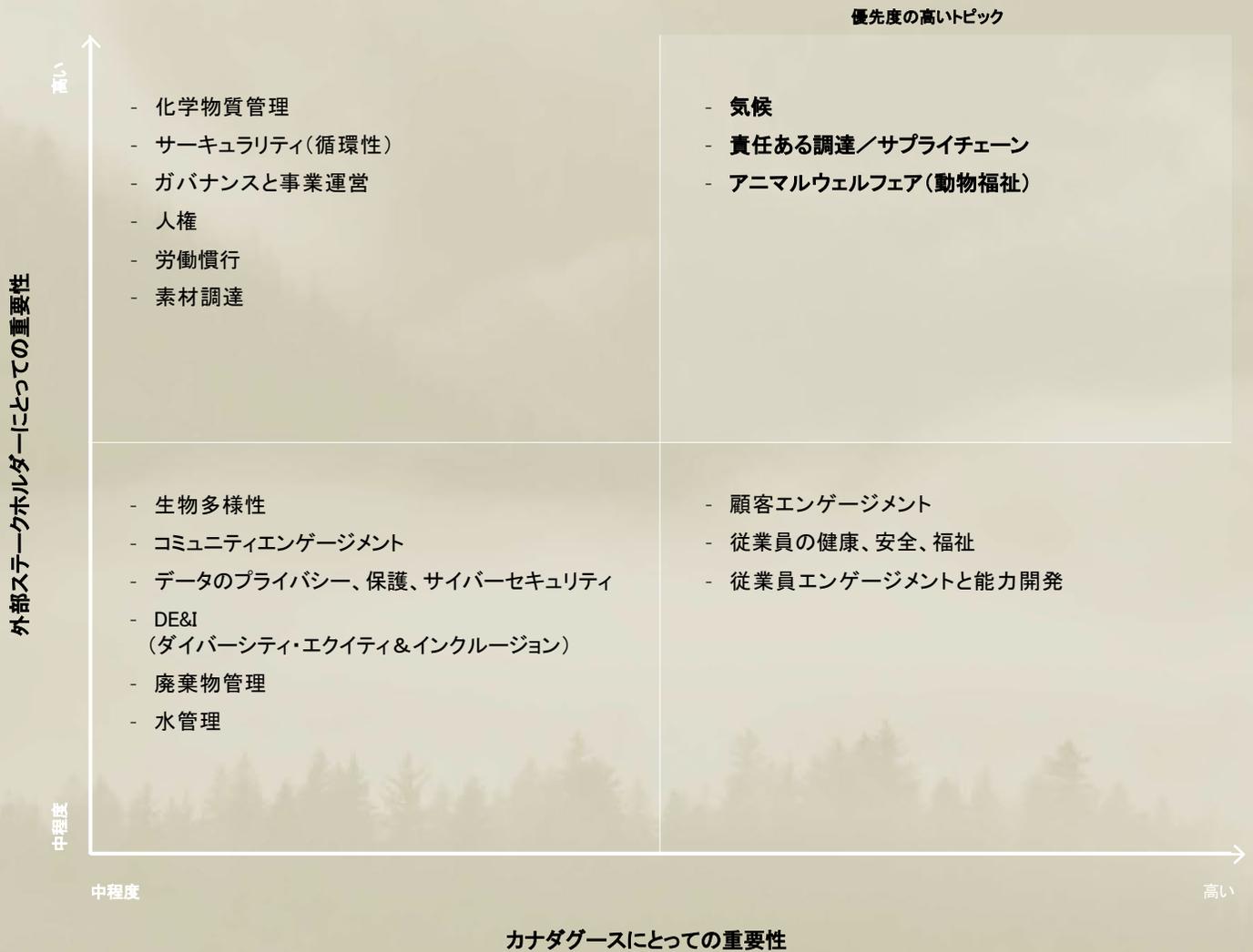
主要な業界動向の詳細なレビュー、主要なESG基準およびフレームワークの要求事項の評価、同業他社のベンチマーク調査、事業戦略および計画に関する主要な社内文書のレビューからなる調査を実施し、18のサステナビリティ・トピックの予備リストを作成しました。

2. ステークホルダーの参加

トピックの優先順位を決めるために、アンケート調査や1対1のインタビューを実施し、社内外のステークホルダーと協力しました。この段階で、私たちは事業全体の従業員、顧客、そしてサプライヤー、ステークホルダー、非営利団体を含むその他の外部ステークホルダーからのフィードバックを収集しました。

3. トピックの優先順位付け

ステークホルダーの回答を点数化し、次の2つの側面における各トピックの相対的な重要性を反映するために重み付けを行いました。「社会や環境に対する私たちの影響」と「私たちの事業活動への影響」。ESG優先度評価マトリックスの右上にあるトピックは、両側面で高得点を獲得しています。これらのトピックはすべてカナダグースにとって重要ですが、戦略的関連性と、今後どこに最もポジティブな影響を与えることができるかという検討に基づいて、サステナビリティの重点分野をさらに定義しました。







カナダグースの製品は、人々を雨風から守り、暖かくすることを目的として作られています。そして、これらの製品にはパッケージを含め、地球を冷たく、住む人々を暖かくという私たちのコミットメントが反映されています。私たちのプロセスは、その性能と環境への持続可能性が証明されている素材を慎重に選ぶことから始まります。

カナダグースの製品は ファーフリーです

2021年12月にすべての毛皮の購入を止め、2022年12月に毛皮製品の製造を終了するというコミットメントを達成しました。



推奨繊維および原材料(PFM_s)の 最新の状況

国内製造においてPFMs素材を優先的に採用しており、最終製品の大部分(75%)を占めています。FY23は、国内生産製品において、第三者によって検証されたPFMs素材が77%に達しました。

FY23は、購入した革の97%がレザーワーキンググループ(LWG)認証の革でした。これは、フットウェアやアクセサリを含むすべてのカテゴリーにおけるPFMsのコミットメントを強調するものです。

化学物質の取り扱い

ブルーサイン®やエコテックス®などの広く受け入れられている認証基準を使用するだけでなく、サプライチェーン全体で化学物質、染料、仕上げ剤の責任ある管理を実践しています。また、大手の試験・検査・認証会社と協力し、すべての原材料が私たちの製品制限物質リスト(詳細はSASB Indexを参照)に適合しているかどうかを評価しています。

私たちの製品において「永久化学物質」の使用をなくすことは、カナダグースがより責任ある企業として前進していくための重要な要素です。

2024年春までに、カナダ製のすべての製品はPFAS(有機フッ素化合物)不使用になる予定です。

2024年秋までには、ヨーロッパのサプライヤーが製造するすべての製品はPFAS不使用となる予定です。

素材



素材の使用を見直す

ダウン オルタナティブ ジャケット

ハイブリッジ・ライト・シリーズの最新作であるHyBridge Lite Hoody TENCEL™は、保温性、性能、耐久性を提供するために、生分解性の植物由来のソリューションを使用する可能性を強調しました。

リジェネレーション

過去を思い、未来を再構築する。リジェネレーションは、目的を持ってデザインされたコレクションです。余剰生地や素材をアップサイクルして、カナダグースの伝統を反映し、サステナビリティのコミットメントを強化する、機能的で個性的なコレクションに仕上がっています。また、それは私たちにとって、最もアイコン的なカナダグースのいくつかのスタイルに新たな視点を生み出す機会でもありました。



カインドフリース

フリースの多くは石油由来で、生産工程全体を通じて大量の天然繊維と合成繊維が使用されています。カインドフリースは、リサイクルウール62%、木材由来のテンセル™リヨセル18%、トウモロコシから得られる糖分を原料とする植物由来のソロナ®ポリマー13%、ナイロン7%を使用した、非常にソフトで通気性の良い次世代フリースです。このフリースは、カナダグースが誇る保温性と快適性をそのままに、環境全体への影響が少ない製品です。

パッチワークパーカ

製品の生産段階で、生地の最後の1メートルが使われないことがよくあります。これらの生地の端切れを廃棄しないようにするために、私たちのデザイン・チームは率先して余った生地を再利用し、それを縫い合わせることで私たちのシグネチャーであるエクスペディションパーカのシルエットを製作しました。最終製品は、結果としては小さなコレクションに過ぎませんが、パッチワークパーカは、テキスタイルを最大限に活用し、何も無駄にしない方法についての新しい考え方を表しています。

HUMANATURE

HUMANATUREのコレクションは、2022年に初めて発表され、最もアイコン的ないくつかのスタイルにおいて、特定の素材を使ってできることの限界を広げるという

私たちのコミットメントを示しています。コレクションにおける素材の選択は、より環境に優しい生地や素材を選ぶというコミットメントに基づいています。





製造とオペレーション

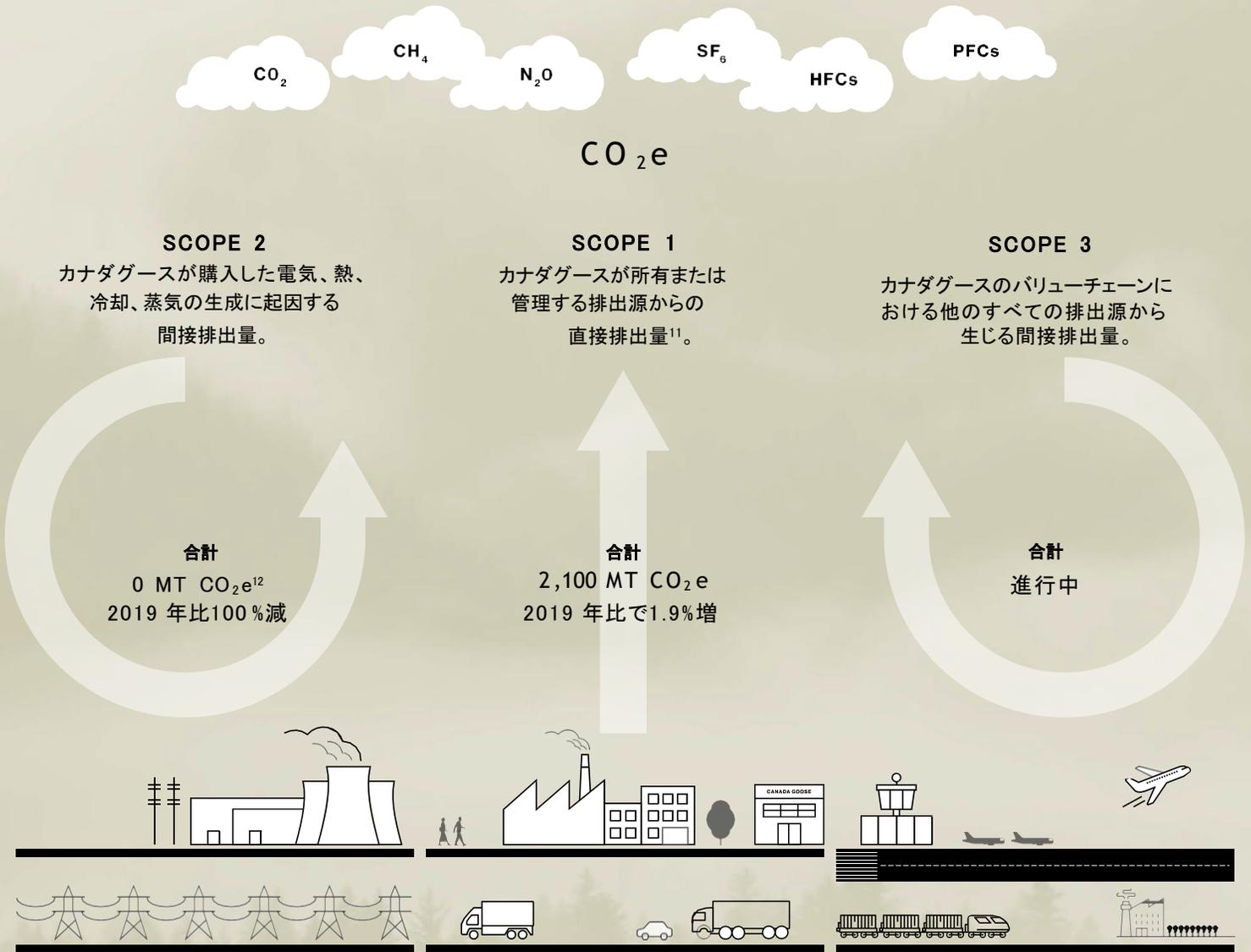


私たちは、北部の永久凍土の融解や氷河の後退など、気候変動を目の当たりにしています。また、地域社会、事業活動、環境を守るために進むべき道も見えています。引き続き3つの柱からなる戦略を実行し、同時に、廃棄物を減らし、資源を有効に活用することにも取り組んでいます。

- 建物効率の向上
- 炭素源を削減する
- 再生可能エネルギーを取り入れる



FY23の温室効果ガス排出量



二酸化炭素換算値(CO₂e)とは、地球温暖化係数に基づいて、さまざまな温室効果ガスの排出量をメートルトン(MT)単位で比較するために用いられる指標です。カナダグースは、GHGプロトコル企業会計報告基準で定められたスコープ1、2、3の定義に準拠しています。カナダグースは毎年、炭素排出量データを見直し、それは独立した第三者機関によって検証されています。

11 FY23にRECs(再生可能エネルギー証書)を購入し、スコープ2の排出量をゼロに削減することができました。RECsを考慮しない場合、スコープ2の排出量は1,950 CO₂eになります。

12 スコープ1には、カナダグースが所有または管理する排出源からの直接排出が含まれ、スコープ2には、カナダグースが購入した電気、熱、冷却、蒸気の生成に起因する間接排出が含まれます。スコープ3の排出量には、カナダグースのバリューチェーンにおける他のすべての排出源から生じる間接排出量が含まれます。

エネルギー削減の成果

私たちは、再生可能エネルギー証書(RECs)のコミットメントを通じて、ネットゼロ目標に向けて大きく前進しました。FY23は、Scope 1と2のGHG(温室効果ガス)排出量を前年度比で43%削減し、基準年度の19年度を34%下回りました。また、GHG排出量の200%に相当する量を削減、回避、または除去するプロジェクトに投資することで、カーボンニュートラルも維持しました。

FY23では、スマート・ビルディング・オートメーション・システム・プロジェクトやLED照明導入など、製造工場で多数のエネルギー改善プロジェクトを開始しました。FY24には、これらのプロジェクトのエネルギー節約分を計上することができ、合計で398トンのCO₂eに相当する削減が見込まれます。

また、天然ガスなどの炭素集約型の資源からの転換に向けて、製造施設を電化する機会を特定するプロセスも開始しました。2025年のネットゼロのカーボン目標を達成するため、年間2~3か所で実施する予定です。また、2022年にSBTi(科学的根拠に基づく排出量削減目標イニシアチブ)が定めるネットゼロガイダンスの変更と、炭素排出量削減へのコミットメントも評価しています。

Scope 1および2排出量の内訳(CO₂e、トン)



小売店および製造の場所は、[こちら](#)をご覧ください。

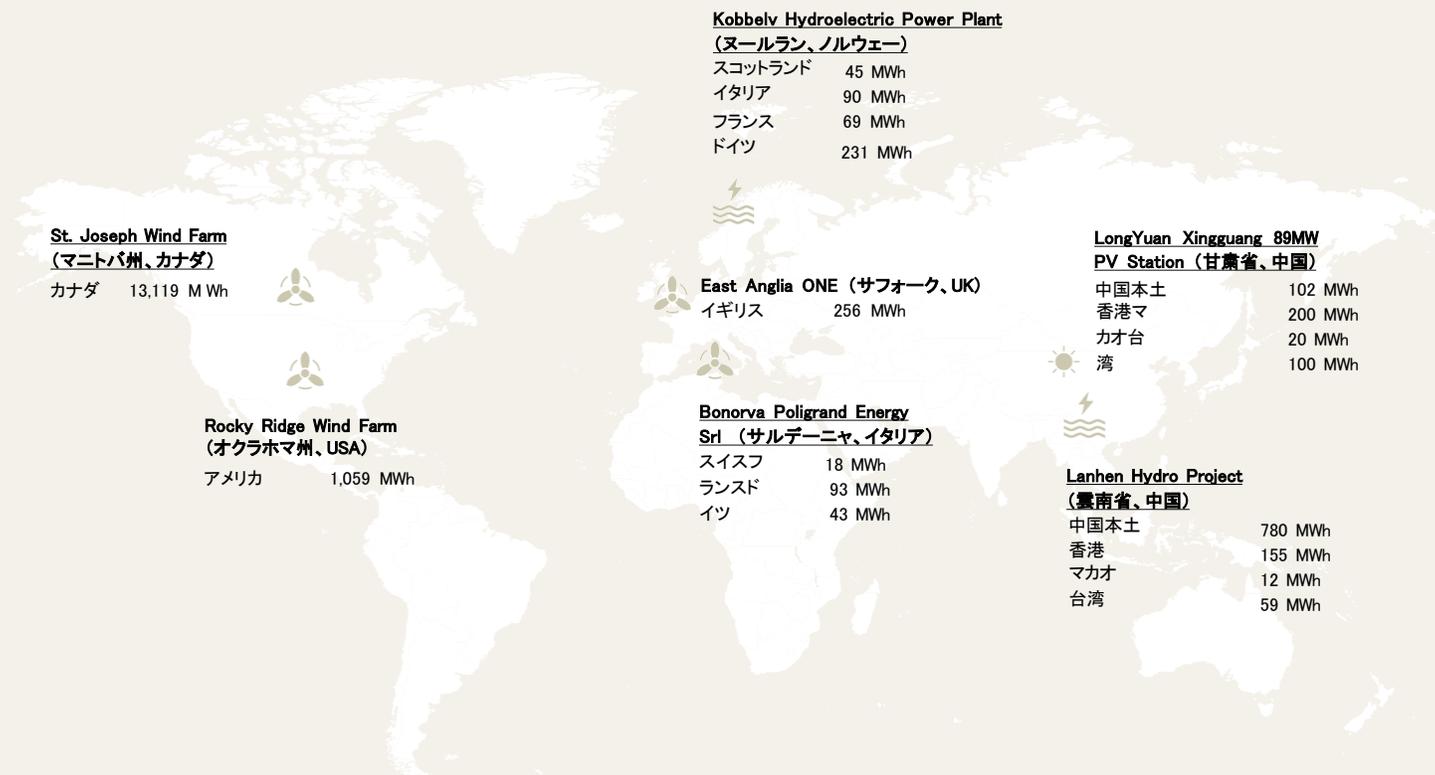
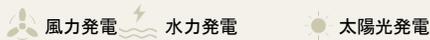
13 毎年、独立した第三者検証機関とデータを見直す際、スコープ1およびスコープ2のカーボンフットプリント計算に計上されている施設の所有モデルを見直します。賃貸借契約書類を見直した結果、当初スコープ1および2に指定されていたショッピングセンター内の小売店や賃貸倉庫の多くが、現在はスコープ3排出量に計上されることがわかりました。これらの場所の変化に影響を与える私たちの直接的および間接的な力は非常に限られています。たとえば、ユーティリティ(電気・ガス・水道)は共用で、空調システム(HVAC)はカナダグースのリースエリア内にはないため、カナダグースの施設管理チームの範囲外であり、意思決定や投資に影響を与えることはできません。建物の燃料源の切り替えやHVACの全面的な改善などの大規模なエネルギーの改善は、建物の所有者/貸主の責任となります。

14 スコープ1の排出量は、カナダグースが所有または管理する排出源からの直接排出量です。(該当するショッピングセンター内の賃貸小売店舗および運営施設を除く)

15 スコープ2の排出量は、カナダグースが購入した電気、熱、冷却、蒸気の生成に起因する間接排出量です。(該当するショッピングセンター内の賃貸小売店舗および運営施設を除く)

22年度～FY23 REC(再生可能エネルギー証書)購入

主要電力



FY20以降、私たちはカーボンゼロを目指し、国際的な基準で認証され、第三者によって検証済みの高品質のカーボンオフセットを見つけ、パートナーと提携しています。FY23には、VCS ゴールドスタンダード認証の中国の再生可能太陽光発電プロジェクトを通じて再生可能エネルギーに投資し、スコープ1全体の排出量を200%オフセットしました。エネルギー削減努力の新たな重要な要素は、スコープ2排出量を計上することを目的としたREC(再生可能エネルギー証書)によるものです。

今年度は、グローバルオフセットへの投資を継続する一方で、世界中でRECへの投資を開始した最初の年でした。私たちの戦略は本質的に地域に根ざしたものであり、私たちが協力する地域社会で最もポジティブな影響を与えることができる投資に焦点を当てています。風力発電と水力発電を中心に、北アメリカ、ヨーロッパ、アジアのプロジェクトに投資してきました。環境にプラスの影響を与えるだけでなく、私たちの投資が、プロジェクトがある地域社会にもプラスの社会的影響を与えることができるよう、適切な配慮を行っています。



責任ある事業活動



私たちは、誠実さと説明責任という高い基準に沿って、事業活動を超えて、消費者、従業員、ビジネスパートナー、サプライヤー、投資家にどのような影響を与えるかを考えています。事業活動をどのように構成し、管理するかということと、地球とそこに住む人々を大切にすることの間には密接な関係があると考えています。

人権を守る取り組み

私たちの正式な人権コミットメントは、日々の事業運営およびサプライチェーン全体において、直接的または間接的にカナダグースと関わるすべての人の基本的人権を尊重し、保護するという私たちのコミットメントを強調しています。

従業員、ベンダー、ビジネスパートナー、世界のサプライチェーンで働く人々、そして私たちが事業を展開する地域社会など、事業活動に関わるすべての人々の権利を擁護します。



責任ある事業活動

カナダグースジェネレーションズ

リセールへの取り組み

すべてのピースそれぞれに語るべきストーリーがあり、私たちはできる限り多くのチャプターを加えたいと考えています。2023年1月、アメリカで2次流通プラットフォーム、ジェネレーションズを開設しました。その目的は、カナダグースのアウターウェアと衣類を下取りし、また、オーセンティックなスタイル、アイコン的なヘリテージピース、限定アイテムを取り揃え、購入できる検証済みのプラットフォームを消費者に提供することです。2023年7月にはカナダにもプラットフォームを拡大しました。ジェネレーションズは、サステナブルインパクト戦略を直接支援し、保証廃棄物転換の年間目標達成を支援します。新品を購入するのとは比べ、分析では、ジェネレーションズのパーカは二酸化炭素排出量が70%少ないことがわかりました。



地域別総生産数の割合

北アメリカ

75%

ヨーロッパ

22%

アジア

3%





人々と地域社会



人間関係はHUMANATUREの中核です。私たちは施設の内外問わず、尊敬と情熱、そして思いやりのある傾聴力で人間関係を築くことに力を注いでいます。健全な職場の維持、従業員のキャリアアップのための準備、地域住民を暖かく包み込むこと、イヌイットの伝統を称えること、そして、人と自然を結びつけるための取り組みを行なっています。

情熱、専門性、信頼性が当社の原動力です。従業員が最善を尽くし、最善を尽くすことができるようにすることは、私たちの存在意義の基本です。私たちは、目標を追求し、変化を起こし、自分自身を誇りに思えるような自由とリソースを提供し、チームメンバーを支援します。起業家精神、不屈の精神、情熱、革新性、信頼性というコアバリューを共に実践しています。そして、ともに偉業を成し遂げるのです。従業員に対する取り組みの詳細については、FY21 ESGレポートをご覧ください。

5,053

従業員数

従業員の男女比

1,389 (27.5%)	3,638 (72%)
男性	女性

無回答/ノンバイナリー = 5 (0.09%)

リソースセンタープログラムをさらに多くの地域に拡大

15年近くにわたり、私たちは航空会社とパートナー提携し、カナダ北部の遠隔地のイヌイットのコミュニティに重要な文化的物資を届けています。この取り組みを通じて、余剰生地や裏地、ボタン、ファスナー、装飾パーツなどの素材を送り、地元の裁縫師が現代の機能的な素材を用いて伝統的な縫製を続けています。このプログラムは起業の機会を創出するだけでなく、これらの重要な地域の職人技と伝統を称えるもうひとつの方法でもあります。

2022年12月、私たちはイヌイットの縫製師、裁縫師、パーカデザイナーをユーコン準州のホワイトホースに迎え、7万メートルを超えるカナダグースの高級生地と素材の中から選んでもらいました。

物流面では、エア・ノース社の協力の基、大規模なイベントに参加できなかった他4つの地域へも個別輸送を行いました。

リソースセンタープログラムの地域展開





ポーラーベア インターナショナルとの継続的な取り組み

15年以上にわたり、カナダグースはポーラーベア インターナショナル(PBI)を支援し、人々に北極圏への関心を喚起し、消費者に北極圏の生物多様性と地球の気候とのつながりを理解してもらうことを目的としています。

このパートナーシップの新たな広がりとして、高い評価を得ているアーティスト パオラ・ピヴィ氏 (Paola Pivi) と限定カプセルコレクションを展開しました。コレクションには、さまざまなクラシックなスタイルにたくさんのカラフルな春夏らしいプリントが施されています。何よりも、私たちの製品を通じて北極圏の保護に関するメッセージを発信することは、PBIとの取り組みを進化させる方法の1つです。

CG Gives

当社の慈善寄付プログラムにより、適切な世界的大義に迅速に寄付することができるのと同時に、従業員も同様に行動することができます。引き続き、各年度に従業員1人あたり2,500ドルを上限に、従業員の金銭的な寄付と同額を慈善団体に寄付しています。カナダグースが企業として支援している団体、NPO団体イヌイト・タピリット・カナタミ、ポーラーベア インターナショナル、最近ではハーツ・イン・ザ・アイスなどに従業員が寄付をすると、5,000ドルを上限に、その寄付金の倍額を寄付しています。FY23の従業員の寄付総額37,825ドルでした。

従業員が、最も関心を寄せる活動に関連する団体に、自分の時間を充てるため、年に3日の有給休暇を提供しています。

FY23は、世界各地、特にウクライナで救援活動を引き続き支援しました。従業員には、製品や資金支援という企業寄付と 並行して、募金活動を行うことを奨励しています。ウクライナ救援のための寄付は、パーカ、ジャケット、小物類を合計10,000 点、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)に220,000ドルを寄付しました。



リボーン(再生): HUMANATURE アートインスタレーション

トロントを拠点とするビジュアルアーティストのブライオニー・ダグラス氏

(Briony Douglas)に、HUMANATUREを表現する生命力ある作品作りのために、前シーズンのウィンドウディスプレイで残った多くの素材や当社のアップサイクル保証プログラムで余った素材を無料ライセンスとともに提供しました。

彼女の創造的なビジョンのもと、余剰素材は共に新たな生命を見出しました。

この作品は「冰山から抜け出した地球であり、変容と再生、つまり私たちが学んだことを生かし、新たな人生観を形成することを表している」と、ダグラス氏は語ります。

生物多様性をめぐる教育の構築

従業員のボランティア活動や取り組みの一環として、当社の北アメリカサステナビリティ評議会はオンタリオ州のリトリートセンター・ソウルズ・パス (Souls Path) と提携し、地域の生物多様性を支援、強化することを目的とした4つの新しい庭園を建設しました。

トロントを拠点とする従業員がこの施設に招待され、鳥や昆虫などにとって重要な自然の生息地を作るのに協力しました。

これらの庭園は地域の生態系の根幹であり、生物多様性の重要性について従業員や来訪者を教育する機会となっています。

Hearts In The Ice

2019年、科学者のスニヴァ・ソルビー氏 (Sunniva Sorby) とヒルデ・フォーレン・ストローム氏 (Hilde Fåln Strøm) は、男性なしで、北極圏で越冬した史上初の女性となりました。文明から140キロも離れ、水道も電気もなく、過酷な冬には真っ暗闇が支配する中、彼女らは北極圏の気候変動に関する重要なデータを収集するため、不屈の精神でやり遂げました。

彼女たちは今日も北極圏に留まり、「ハーツインザアイス」と言うプロジェクトを通じて、急速に変化する世界の頂点の状況を訴え続けています。人里離れた小屋での時間を利用して、市民科学者としてノルウェー極地研究所 (Norwegian Polar Institute) とスバルバル大学センター (University Centre of Svalbard, ノルウェー) の科学プロジェクトに貢献しています。彼女たちの仕事は非常に骨が折れますが、最終的に、さまざまな組織に北極と南極で起きていることをさらに深く理解してもらうために不可欠です。

私たちのチャンネルのプロモーションや世界的なつながりを通じて、ハーツ・イン・ザ・アイスをサポートできることを誇りに思います。

私たちはまた、カナダの枠を超えて北極圏の保護活動にも携わっています。CG Givesの最も熱心な従業員のグループがアイスランドを訪れ、ソルビー氏、ストローム氏、そして長年のパートナーである慈善団体のスチューデン・オン・トアイス (Student on Ice) と出会い、北極政策と、私たち全員がより大きな保護活動と、より前向きな変化に向けて、どのように取り組むことができるかについて話し合いました。また、従業員は地元の海岸清掃にも参加し、海岸線から320kgのゴミを回収しました。

アートを通して私たちのストーリーを語る

私たちの店舗は、ブランドとしての私たち自身が、何を象徴しているかを反映するものでなければなりません。私たちの価値観には、カナダの遺産と伝統、特に先住民族の伝統が織り込まれています。

2016年に最初の小売店をオープンした際、店内に展示したアートが、カナダの多様性と豊かな文化を称え、正確に表現する強力な

手段になると気づきました。私たちは、国際的なアーティストだけでなく、カナダの最北端の地域の人々の才能に特に注目し、全国のアーティストから、彫刻、大きなキャンバス画、肖像画などの作品の購入を始めました。その作品は、店内に美術館のように展示され、商品をさらに引き立てています。

店内では、各作品の下に説明とクレジット名があり、来店者が詳細を確認できるようにQRコードが付いています。また、店内のアンバサダーに、各店舗のアートについてトレーニングを行い、お客様の質問にも答えられるようにしています。

現在、当社のコレクションの500点を超えるアート作品が北アメリカ、EMEA、APACの50店舗以上にあり、これらのコレクションは世界最大のイヌイットアートの小売コレクションとなっています。



このレポートについて

未来をどう語るのか

本書には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、過去の事実や将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの記述は、当社の事業の将来、将来の計画および戦略、ならびにその他の将来状況に関する当社の現在の見解、期待および仮定に基づくものです。これらの将来予想に関する記述は「予期」、「予想」、「予測」、「期待」、「計画」、「可能性」、「見込み」、「決意」、「確信」、「評価」、「目標」、「対象」、「目的」、「プロジェクト」等の語句の使用によって識別できますが、必ずしもこれらの言葉を含むとは限りません。これらの見通しには、過去の事実以外の事項が含まれ、特に当社のサステナビリティ戦略、排出量・エネルギー消費量と目標、環境や社会貢献に関する業界の動向に関する見通し、当社の事業計画や目標などに関する意向、見解、または現在の見通しに関わる記述が含まれています。また、これらの記述は将来起こりうる出来事に関連するため、リスクや不確実性を含んでいます。

適用される仮定、リスクおよび不確実性には、特に、本書を通じて特定されるリスク、2023年4月2日に終了した年度のForm 20-Fの年次報告書の「リスク要因」の見出しで特定されるリスク、ならびに当社が証券取引委員会やカナダの各州および地域の証券委員会または同様の証券規制当局に提出するその他情報などがあります。本書に含まれる将来の見通しに関する記述について、合理的と判断する前提に基づいていますが、仮定が実現しなかった場合、科学技術の発展、サステナビリティ戦略の進展、炭素市場の変化、政府規制の改定、または事業環境の変化により、目標および公約の達成を含む実際の結果や展開が、将来の見通しに関する記述の内容や示唆と大きく異なる可能性があることをご留意ください。また、当社が現在認識していない追加的な影響が生じる可能性もあります。このような追加的な影響は、当社が直面する経営及び事業上のリスクを拡大するものであり、本書中の将来の見通しに関する記述をご覧いただく際には、これらのリスクを考慮いただく必要があります。また、仮に本書に含まれる将来の見通しに関する記述と一致する結果や展開が得られたとしても、それらの結果や展開がその後の業績や展望を示すものではない可能性があります。その結果、本書に記載された当社の将来の見通しに関する記述の一部または全てが不正確であることが判明する可能性があります。また、いかなる将来の見通しに関する記述も、将来の結果を保証するものではありません。

さらに、私たちは、新たなリスクがしばしば生じる、高度な競争と急速な変化の中で事業を展開しています。当社の経営陣がすべてのリスクを予測することは不可能であり、また、あらゆる要因が事業に与える影響や、どんな要因や組み合わせが原因で、将来の見通しに関する記述に含まれるものと実際の結果が大きく異なる可能性があるかを判断することはできません。皆様には、当社の将来の業績が予想と大きく異なる可能性があることをご理解いただいた上で、本書および本文中で言及している文献をご覧ください。本書における将来の見通しに関する記述は、この文書の日付時点のものであり、当社はこれらの記述を更新または修正する義務を負うものではありません。



LEARN MORE ABOUT SUSTAINABILITY AT CANADA GOOSE :
[CANADAGOOSE.JP/USTAINABILITY](https://canadagoose.jp/sustainability)

COPYRIGHT © 2023 CANADA GOOSE INC.